

京都YWCA 7



イースター&世界YWCA 会員日集会 ウクライナへの祈りと連帯のメッセージ





京都 YWCA では毎年4月にイースター、世界に広がる YWCA の一員であることを祝う集いをしています。集会企画検討の最中、ロシア軍のウクライナへの侵攻という世界の平和と秩序を揺るがす出来事が起こりました。平和な社会の実現を目指す団体として多文化共生も活動の柱としてきた私たちには、ウクライナ、ロシアの人たちとのつながりもあり、双方の国の「友人たち」を心配する声がありました。そこにユースメンバーからの「なにかできることはないか」という熱い問いかけがあり、4月23日の集会は、危機的な状況にあるウクライナの人たちを想い、一人ひとりの祈りと連帯をアクションにつなげようという趣旨で行うことになりました。日頃より協力関係にある京都YMCA の力強いサポートにより、YouTube 配信を含めたハイブリッドでの企画が実現し、連帯の輪を広げる取り組みができたことに感謝しています。

日本基督教団平安教会の小笠原純牧師からのイースターメッセージ、日本 YMCA 同盟、日本 YWCA 国際部による緊急支援活動報告、そして、若い世代からメッセージ。平和への想いを分かち合う時間が持たれた盛りだくさんのプログラムの中で、ウクライナ出身の方がオンラインで生の「声」を聴かせてくれました。



ウクライナの状況に耳を傾ける参加者

ウクライナ出身のアンナ・ミッチクさんへのインタビュー

アンナさんは 11 年前に来日し、京都 YWCA 日本語教室 の私のクラスの受講者となった。彼女はウクライナの東部ドニプロ出身で 10 年前に日本人と結婚され、東京に在住。アンナさんのお母様はロシア人だったが若い頃にウクライナに来られ、ウクライナ人のお父様と結婚され、アンナさんが誕生した。アンナさんはドニプロに在住のお母様に電話で安否確認はされるものの逃げられない状況が心配と語られた。東部はロシア、西部はポーランドと、接している国は 7 ヵ国。言葉も文化も共有しているところが多く、交流も盛んで関係は複雑に絡み合っている。

ロシアとの関係は千年前に遡るが近代においては第一次大戦中の1917年にロシア革命が起こり、誕生したソビエト連邦がウクライナを攻略。1991年のソ連崩壊でやっと独立国となり、西側世界とも東側世界とも密着しない中立国を買いて現在に至った。

現在のロシア政権は国民に世界の情報を遮断しており、ウクライナ国民をもその政権下に置こうとしている。独裁者と一握りの取り巻き集団、かつてのソ連のような大ロシア帝国を夢想する人たちがこの戦争を起こし、市民の命を残虐に奪った。緑豊かな美しい国を、農村地帯を、違法なクラスター

爆弾などで破壊していった。

最後にアンナさんは日本の方々にこの戦争の真実を知って 欲しいと。日本の支援を感謝され、願わくば日本に来た避難 者が学び、働き、生活できるようにと・・。

私も心から祈る平和を!平安な生活が戻るようにと!

(宮武美知子)



日本語教室「洛楽」の生徒だったアンナさんとともに

こんなに魅力がいっぱい!

ヴォーリズ設計の京都 YWCA サマリア館



サマリア館は W・M・ヴォーリズの設計により 1936 年に建設されました。いまなお多く の人が集い、近年では映画撮影にも利用されました。実はこの会館、長らくヴォーリズ建築 と判明していませんでした。以前より戸棚の取手や天井部分のアーチが特徴的で、「ヴォー リズ建築では」との声があったものの未確認でした。一粒社ヴォーリズ建築事務所に確認を 依頼したところ 2006 年に判明し、設計図も発見されました。木造 2 階建ての建築当時の面 影を残すサマリア館の魅力の一部を、ヴォーリズ建築事務所の入江潤さんにご説明いただき ました。



対面したベンチがある玄関ポーチ

オープンバルコニーのよう なポーチは外観デザインの大 きな特徴になっています。親 近感のある玄関で、建物へ優 しく迎え入れられます。庭に 設けられた東屋(あずまや) のように集いの場としても活 用できます。



台所

ヴォーリズは住宅の設計にお いて、台所は最も重要な場所と 考えていました。南向きで明る く、衛生的、効率的な動線を考 慮した配膳カウンター付き収納 棚、食堂への扉は両手がふさ がっていても開閉可能な自由蝶



番の開き戸、東壁面タイル張り部はストーブ(調理器)置 場で、排煙フードの痕跡もあり往時の姿が偲ばれます。

事務室

建設当初、事務室として利用し ていた部屋は受付カウンターを兼 ねたガラスショーケースを備えて います。また、各室からの呼出し ベル受信機は通信機の歴史から見 てもたいへん貴重です。



魅力いっぱいのサマリア館ですが、築80年以上となり 大規模な補修を必要としています。今後も大切に使い続け たいとの思いから募金活動を始めました(4ページ参照)。

「W・M・ヴォーリズの業績と建築

~京都 YWCA サマリア館に見るその魅力~」

ご紹介しきれなかった魅力はこちらの講演会で取り上げます!

保育園職員

7月24日(日)14:00~16:00



参加費: 1500円 (オンライン 1,000円) オンラインでの参加申込は QR コードから

古川由布子さん

古川由布子です。 私は学生時代 神戸 YMCA で ボランティア リーダーをしてお り、京都 YWCA とはその時にご縁 ができました。 人々が生きやすい



社会の実現にむけて、多くを学びな がら頑張ります。よろしくお願いい たします。

新職員紹介

山本佳奈さん

初めまして、 4月からお世話に なっています、 山本佳奈です。

今まで児童福祉 の分野で働いてい ました。こちらで さまざまな形の支 援や活動を見させ

てもらい、世界の広さ感じました。 これからよろしくお願いいたします。





2022 年度に新しく保育園の職員 (写真前列3名) が加わりました。

左から和田葵(1歳クラス担任)、 原井三友紀(給食担当栄養士)、吉澤 早紀(2歳クラス担任)、です。新し い職員を加えて担任9名、給食担当 2名と非常勤職員で54名の子どもた ちの保育を担っています。どうぞよ ろしくお願いします。



―手話かふぇのご紹介―

生きる上で大切なコミュニケーションが 保障される社会を目指して







京都 YWCA の手話サークルが、月に一度開催している 「手話かふぇ」をご存知ですか?

2018年10月10日、「手話を学んだり、聴こえにまつ わるさまざまなことを考える場」としてスタートし、この 3年半の間、実に多くの方々との素敵な出会いがありまし た。最近は保育園児とお母さんや留学生の参加があり、年 齢の幅もぐんと広がっています。講師と手話通訳のお二人 は、名コンビ。陽気で温かいお人柄のお陰で、手話かふぇ はいつも笑顔でいっぱいです。たとえ短い一文でも、拙い 手話に身振りや筆談などを加え「伝えたい何か」を表現し ていると、今更ながらコミュニケーションの楽しさや大切 さに気付かされます。手話かふぇを大切に思ってくださる 方が多いのは「ありのままの自分」でいられる居場所でも あるからでしょうか。

手話サークルは「筆談ボード」を京都 YWCA の受付と「う ららかふぇ」内に設置し、「耳の不自由な方は筆談しますの でお申し出ください」と書かれた「耳マーク表示板」を館 内3ケ所に掲示しています。聴こえに不安のある方が、館 内で安心して過ごすことができる環境の整備を心がけてい きたいと考えています。YWCA のプログラム参加時の「手 話通訳の手配」や「オンラインでの字幕導入」なども、今 後検討していきたいと思っています。

また、会員であり講師でもある三ツ谷直子さんによる「お 話し会」も計画中です。「日本中の人々が、手話で挨拶でき

るようになることが夢だ」と語っ た聾の大学生の言葉が、胸に刻 まれています。その夢に近づけ る道を皆さんと探していきたい と思います。

初めて手話に出会う方から流 暢に手話で表現される方まで、楽 しく学び合えるのが手話かふぇ です。魅力ある「見る言語であ る手話」に触れてみませんか?





館内の耳マーク表示板



シリーズ----京都 YWCA100 年の歩み (9)

1980 年代以降もさまざまな平和のための活動に取り組む





反核と非暴力に向けた活動

チェルノブイリ原発事故の学習会(1986)、外国籍会員 の指紋押捺拒否の支援(同年)、天皇代替わりの過剰報道 への抗議(1989)、また日本が「戦争ができる国」になる のではという強い危機感から、自衛隊法や国連平和協力法 案の学習会(1990)、カンボジア PKO 要員即時撤退の要 望書を、全国 21 地域 YWCA から政府に提出 (1990)、「日 米新ガイドライン関連法」強行採決を受けてプロジェクト の立ち上げ(1999)などが行われた。

2001年9月のアメリカでの同時多発テロ事件の10日後、 京都 YWCA 主催で市民パレードが行われ約 200 人が参加、 この集まりが「ピースウォーク京都」になり「武力で平和 はつくれない」のメッセージを掲げたサイレントアピール が街頭で繰り広げられた。1985年から97年にかけて「京 都Y平和の旅」として、広島、沖縄、松代大本営跡などを 訪れるなど、さまざまな切り口から「平和」を考える場が 持たれた。

東日本大震災と福島支援の取り組み

2011年3月11日の東日本大震災、福島第一原子力発 電所の事故直後から被災者支援委員会が立ち上げられ、物 資や募金などの援助を行った。

支援の柱は3つあった。一つ目は学校の夏や春の長期休 暇中に子どもたち(のちには家族も)に心身ともに京都で ゆっくり過ごしてもらう保養プログラム、二つ目は在京避 難者に話を聴いたり、京都 YWCA のバザーやイベントに

招待してほっとする時間を過ごしてもらったりすること、 三つ目は日本 YWCA の呼びかけで始まった福島県新地町 に避難している子どもたちのための学習支援である。

原発や内部被爆などについての学習会もたびたび行われ た。時とともに形が変わったり徐々に役割を終えていった りしたものもあるが、2020年には、保養プログラムで会 員宅にホームステイしていた子どもたちとオンラインでの リユニオンが行われ、心温まるひとときとなった。

YWCA は 1970 年代から「核否定の思想に立つ」を掲 げてきたが、この原発事故はそれを改めてしっかりと会員 の心に刻み付けるものとなった。



2012年夏 琵琶湖での保養キャンプに出発



サマリア館補修募金への ご協力のお願い

京都 YWCA は 2023 年に 100 周年を迎えます。本紙 2 面 でも紹介している W・M・ヴォーリズ設計のサマリア館は、 現在京都 YWCA が進める「多世代・多文化ふれあいコミュ ニティづくり」事業の大切な場として、日々利用されており ます。1936年に建てられた建物は築86年を迎えてさまざ まな部分の補修が必要になっています。100周年記念募金の 一環として、7月よりサマリア館補修のためのクラウドファ ンディングを開始します。

皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

クラウドファンディング

詳しくはホームページをご覧ください。

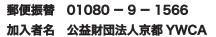
期間:7月1日~9月30日

100 周年記念募金

目 標 額:1,000万円 (そのうちサマリア館補修に500万円)

募集期間: 2021 年 4 月~ 2024 年 3 月 募 金 額:個人 1口 3,000円





次のサイトからオンラインでもご寄付いただけます。 https://congrant.com/project/kyotoywca/4775

その他の京都 YWCA へのご寄付の詳細は事務所に問い合 わせていただくか、ホームページをご覧ください。 http://kyoto.ywca.or.jp/support

ご協力ありがとうございました

2022年4月1日から5月31日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

各指定寄付

*100周年記念募金

吉田紀子、宮武美知子、黒木順子、 齋藤佳津子、大窪誠司、池上信子、 織田雪江、有田佳子、鍛冶冨美子

*親・子育ち支援活動委員会 有田孝子

*ふれあいの「居場所」事業部委員会 吉田繁、清水義、岡昭男、高野朗、 宮武美知子

*多文化共生委員会

北垣由民子、筒井奈都子、織田雪江、 安田順子、友岡文、内田匡子、 飯田修、有田孝子、上村兪巳子、 平野冨希、織田雪江、篠田茜、匿名、 同志社女子大学宗教部、街角企画㈱

*APT

上原従正、東山正明、髙山亨、 仲本直子、飯田奈美子、北垣由民子、 大窪誠司、大手理絵、筒井奈都子、 簗瀬仁志、匿名

*平和・環境活動委員会 イエニックふたみ

*自立援助ホーム「カルーナ」 堀部碧、織田雪江、入順子、 イエニックふたみ、御前明美、 弘中奈都子

*替肋費

臼井一美、上村剛士、小室京子、 窪田左知己



APT ボランティア募集!

ATP (Asian People Together アプト) は、外国にルーツの ある方が日本で暮らす中で直面する問題(在留資格、離婚、DV、 子どもの教育、医療、仕事、法律、福祉制度など)に関する相 談を受け、一緒に解決策を考え、必要に応じて役所などへ同行 します。特に外国語は必須ではありませんが、通訳(英語、タ イ語、フィリピン語、中国語など)のできる方も募集しています。

*活動日:・電話相談は毎月曜日 13:00~16:00 及び 毎木曜日 15:00~18:00

> ・同行や来所は随時 (シフトを組んだり、随時相談の上決めます。)

・毎月第3土曜日午前全体ミーティング (原則全員参加)

※募集は9月中。10月より研修を開始して参加していただきます。 ご連絡をお待ちしています! apt@kyoto.ywca.or.jp

5・6月/理事会報告

- ●京都 YWCA 高齢者住宅サラームで成年後見制度勉強会を実施 (4/16)
- ●貸室の料金を改定し、新料金を4月より導入している。
- ●オンライン募金支援業者と契約し、募金ワークショップを経て オンライン募金サイトの制作作業を進めている。
- 100 周年記念実行委員会:今後のプログラムや募金イベント日程 を確認した。7月24日に記念講演会「W・M・ヴォーリズの業績 と建築~京都 YWCA サマリア館に見るその魅力~」、秋に第4回 「京都 YWCA100 年の歴史を知るシリーズ」を予定。
- ●自立援助ホーム「カルーナ」では 入居者・退所者向けのプログラ ム(美ボディーワーク、ストレッチ、若者就労支援の一環として のランチ提供等)を実施している。
- ●子ども・若者のための居場所事業「Y ここ Kitchen」は6月より 调4回実施。
- ●ふれあいの居場所食堂「うららかふぇ」で毎月1回以上ランチを 提供してくださる委託者を募集している。詳細は事務所までお尋 ねください。
- ●8月16日に大文字鑑賞会を実施予定。

KYOTO YWCA No.569 2022年7月号 (7月1日発行)

発行人:上村兪巳子 電 話:(075)431-0351 郵便振替: 01080-9-1566 発行所:公益財団法人京都 YWCA FAX: (075)431-0352 口座名義:(公財)京都 YWCA

〒602-8019 e-mail: office@kyoto.ywca.or.jp 定 価:1部50円 京都市上京区室町通出水上ル近衛町44 : http://kyoto.ywca.or.jp 発 行:奇数月1日発行